

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 666 号

2016年12月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

各種金属 1年間の 価格の比較

編集部

主要金属は安定

鉄鋼・アルミニウム・銅のような実用主要金属の円建価格に大きな変化はない。国際市場におけるドル建相場は約10パーセント上昇したが、円/ドルレートが10パーセント上昇して相殺した。

金属相場の変動は、エネルギー相場の変化に大きく影響を受ける一方、近年は中国の生産能力の異常な増大とその換業状態、政策の行方が国際需給に反映する時代となった。

来年の見通し

アメリカで新大統領トランプ政権が発足する。大統領選挙戦中、保護貿易主義を連発して当選したことから、従来のアメリカの国際自由貿易主義とは決別する政府になる。

高率輸入関税で工業製品の輸入を阻止、あるいは減少させる政策が実行に移された時、世界経済にどのような影響、変化が出るか予測は困難であるが、好影響が出るとは考えにくい。

	2015年11月	2016年11月	$\frac{16}{15}$ 比
①アルミニウム (99.7%新塊)	225,000	226,000	1.00
②ダイカスト用亜鉛	267,000	335,000	1.26
③電気銅 (建値)	630,000	650,000	1.03
④電気鉛 (建値)	255,000	281,000	1.10
⑤電気亜鉛 (建値)	244,000	328,000	1.34
⑥錫	1,980,000	2,450,000	1.24
⑦ニッケル	1,350,000	1,430,000	1.06
⑧鋼材 (19mm異形棒)	50,000	51,000	1.02
⑨鋼材 (冷延1.6mm鋼板)	68,000	65,000	0.96
⑩鋼スクラップ (H2)	12,000	11,000	0.92
⑪アルミ・スクラップ (テンス)	59¢/ポンド	60¢/ポンド	1.02
⑫A重油 (S1.0)	47	41	0.87
⑬金	4,330円/g	4,323円/g	1.00
⑭円/ドルレート	123円	111円	0.90

(単位：特記なきものトン当り円)

冬季休日 12月29日(木) から 1月5日(木)まで

歳末



オートファジー

岡田 正直

2016年ノーベル医学・生理学賞に大隈良典東工大栄誉教授が受賞され、日本人として3年連続の快挙で誇り高い事だ。オートファジーとは、「自分を食べる」という意味で細胞に核のあるすべての生物に備わる生命の基本的な仕組みで、細胞が不要になったたんぱく質を分解する仕組みを発見、解明されたのが理由で、古い細胞に新しい生命を吹き込む細胞のリサイクルの発見だ。人間の体は小さな小宇宙と言われる通り、その営みはまったく神業。その営みの経済規模は何千億円かは知らぬが、さらりと行われる事実に驚愕する。いつ頃の獲得形質かは不明だが、このリサイクルは人類の歴史と共にある事は確かだ。

さて我々アルミリサイクルは比べる由もないが、世界的には成長産業だが、ミクロ国内的には、熾烈な競争が繰り広げられ退出も続くが、その使命は必要不可欠であり、挑戦し続けなければならない。本年一年の御愛顧に心より感謝申し上げますと共に、来たる年も一層のご支援賜ります様お願い申し上げます、オートファジーの一翼を担って邁進してまいります。感謝。

(アスカ工業 取締役)



大変化

杉山 勝己

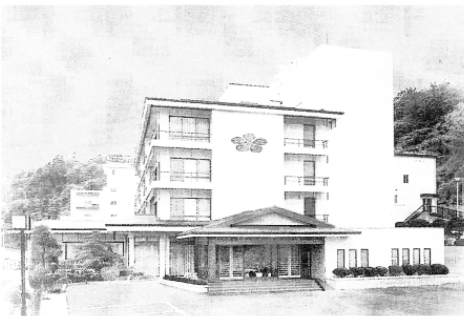
6月に行われた英国がヨーロッパ連合から離脱の可否を問う国民投票、11月に行われたアメリカの大統領選挙、この世界の2大選挙がいずれも予想を裏切り反グローバルイズムの勝利となった。

英国の場合、実効は先のことだが、アメリカの超保護主義のトランプ政府は新年早々に発足する。選挙中の公約、「中国製品にはすべて45パーセント、日本の自動車には28パーセントの高関税をかけ輸入を阻止する」「TPPは否定、北米自由貿易協定は見直す」は全く今までの世界の常識とは反対だ。

本年はこのような異常で流動的な国際環境で終わろうとしている。そして一方国内では、少子高齢化、経済の縮小、借金大国、さらにオリンピックの巨額負担などに直面して次世代へ巨額負担を残す恐れが大きい。想定内にしる想定外にしる、このような社会の変化にも押し流されることのない堅実さを保ちたい。

弊社にとっては平穩無事にこの一年を送ることが出来、ご関係先の各位に深謝すると共に、来たる酉年が皆様共々より良き年になるよう祈って2016年を締め括りたい。

(アスカ工業 取締役)



新春 商売繁昌 交通安全 祈願会

1月20日三ヶ根観音

第33回新春商売繁昌・交通安全祈願会は、来年1月20日（金曜日）に三河湾国定公園吉良海岸の吉良観光ホテル（左写真）と三ヶ根観音において行われるはこびになった。

アスカ工業株式会社の原料納入事業所の代表80名は吉良観光ホテルに参集、天野卓社長の「酉年を占う」と題する新春放談を聞き、その後バスで三ヶ根山頂に登り、三ヶ根観音で商売繁昌と交通安全の祈願会を開催する。

一言



TPPの行方

天 野 久

イギリスとアメリカの2大国の保守化の動きが表面化して、世界の政治と経済がどこへ向かうのか、混沌の状況で年末を迎える。

この2大国の反国際化の動きは、「強大国は弱小国を援助すべきもの」という国際常識を、自国の経済不振や成長鈍化の流れが否定したものと理解はできるものの、将来的には果たして自国にとってどのような影響を受け、他方国際社会にとってどのような影響を与えるのか予想ができない。

アメリカがTPP参加を否定した結果、TPP参加国で工業国は日本一国となって、あと8ヶ国はすべてに農業国と言ってよい。したがってこの環境で日本への期待は、日本の農業、畜産業の門戸開放が最大のものとなるのであろう。

最大で最強?の経済大国が、工業製品は自由貿易、農業、畜産業製品は不自由貿易を主張する現状はまことに不自然、滑稽だ。TPPの目標は「国民生活の豊かさ」の追及にある。どの国もこの看板を下ろしてはならぬ。(注:国民生活を豊かに=国債残高の減少)
(アスカ工業 取締役会長)

おめでた

杉本潤氏 藍綬褒章受章

「感謝の会」

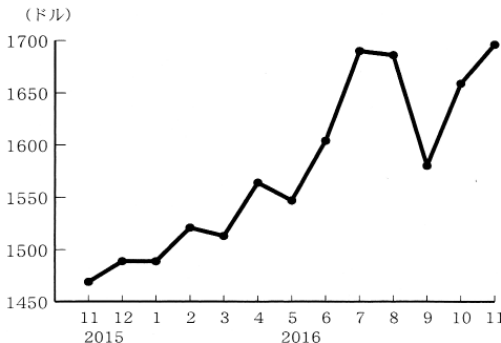
美濃工業株式会社 代表取締役社長 杉本潤氏の藍綬褒章受章記念「感謝の会」が、10月28日ユーグリーン中津川ゴルフ倶楽部にて、中津川市長はじめ、中津川商工会議所役員・常議員など230名の参加者で盛大に開催された。(写真・杉本潤氏の挨拶)



アクロナイネン株式会社 創立50周年

和歌山県を代表するアルミダイカスターメーカーのアクロナイネン(勝本真人社長)は、11月4日和歌山市内のホテルアバローム紀の国において、同社の勝本偉一会長の創業物語をまとめた著書「慶運の星の下に生まれし者」の出版記念祝賀会を開催した。和歌山県知事、和歌山市市長はじめ関係団体120名が出席して創立50周年と併せて盛大に祝った。

アルミニウムLME 3ヶ月先物月央相場



アルミニウム新地金の国際指標となるロンドン金属取引所(LME)の3ヶ月先物の月央相場を左掲した。

エネルギー相場に連動して下げ続けた昨年の相場は、11月を底に本年は一転上昇に転じた。7・8月はエネルギー相場のピークに同調して高値を記録した。

1,700ドルを超えると供給力の増大が予想されている。

有馬公一顧問 感謝の送別会

昨年6月の株主総会で常務取締役を退任し、その後顧問として後輩の指導に活躍した有馬公一氏は10月末を以って任期満了、目出度く引退の日を迎え、11月12日市内丁田町の「大館」で送別会を挙げて感謝の意を表した。

(写真・有馬顧問を囲む営業部の後輩)



社内情報

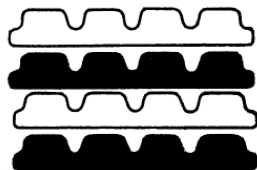
- ◎11月16日(水曜日)、一般社団法人日本アルミニウム合金協会と理事と経産省金属課との懇談会が開催されました。アメリカの大統領交代をめぐる「今後の業界のあり方」が討議され、天野卓社長はコメントを求められました。
- ◎第33回商売繁盛・交通安全祈願会は、1月20日(金)に決まりました。過去32回新春放談をいたしました天野久会長は昨年を以って卒寿を期に退陣、来春から天野卓社長が登壇します。ご期待下さい。

編集後記

- ☐お取引先の皆様のおかげで、平穏な1年を送ることができました。全社員を挙げてご支援に厚くお礼を申し上げます。
- ☐天野卓社長は12月22日から27日まで西尾商工会議所視察団員としてベトナムを訪問します。
- ☐国内・国外のご愛読者の皆様に、1年間のご愛読とご支援を厚くお礼申し上げます。
- ☐皆様お揃いで良い年をお迎えいただきますようお願い申し上げます。

アルミ缶リサイクルング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500代
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>